

第 25 回コンピュータフェスティバル 部長会議 議事録

1. 日時および会場

- (1) 日 時 平成 30 年 3 月 11 日 (日) 15:10 ~ 16:00
- (2) 会 場 津山工業高等専門学校 総合理工学科南館 A 棟 2 階 会議室

2. 議題

議事進行に先立って、配布資料の確認の後、各高専参加者からの挨拶があった。

(1) 第 24 回コンピュータフェスティバル会計報告

米子高専徳光教員から、前回大会に関する決算書の資料に沿って、会計報告がなされた。なお、前回大会の残金については、繰越金として今大会に引き継いだことが合わせて報告された。

(2) 大会に関する諸連絡

津山高専水嶋部長から、以下の内容についての連絡がなされた。

- ・ パンフレットには記載できていないが、大会本部は総合理工学科南館 B 棟 3 階の化学実験室である。
- ・ 今大会の公式サイトで公開している大会関係資料について、参加者にはあらためての確認をお願いする。特にブース審査については、時間を間違えないように十分な確認をしておいて欲しい。
- ・ 大会当日に何か気づいたことや要望があれば、本部に申し出るかスタッフジャンパーを着た大会スタッフに連絡をしていただきたい。
- ・ 大会パンフレットについては若干の余部があるので、紛失・落丁などがあれば対応する。これについても本部に申し出るか大会スタッフに連絡をしていただきたい。
- ・ 複数の作品を応募しており、ブース審査の時間が重なっている場合は、展示ブースに審査に遅れる旨の掲示をしていただければ、審査委員が審査順番の変更対応をす
- ・ 頒布したパンフレット（後述）については、表紙をめくったところに正誤表が、裏表紙から戻ったところに学生投票用アンケート用紙が挟み込まれている。
- ・ 昼食などの飲食については、開閉会式会場である総合理工学科南館 A 棟 3 階の合併教室のみに制限する。

以上の説明の後、情報交換会についての参加費について質問があり、参加費は不要の旨が返答された。

(3) コンフェス公式サイトについて

津山高専水嶋部長から、当初は外部レンタルサーバを用いてコンフェス公式サイトを立ち上げる予定であったが、契約的な理由により断念した旨の報告がなされた。

これに続き水嶋部長から、今後の公式サイト開設方針についての検討をしたい旨の提案がなされた。

これを受け議論を行った結果、次回大会に向けた課題として申し送ることとなった。

(4) 大会パンフレットについて

津山高専水嶋部長から、夏季部長会議での結論を受け今大会のパンフレット冊子を作製したことが報告されたが、作業に要する時間・手間・コストの面で WWW 公開化を図ってはどうかとの提案がなされた。

これに対して、今大会の印刷部数と印刷費用が質問され、印刷部数は 180 部であったが印刷費用については記憶していないため、後日にあらためて回答する旨の返答がなされた。

本件について議論を行った結果、次期主管校に申し送り、引き続き検討をしていくこととなった。

(5) 大会実施内容について

津山高専水嶋部長から、これまでとは異なり、今大会は4つの部門（競技部門・ゲーム部門・アプリケーション部門・メディアコンテンツ部門）で実施することが報告された。また、昨今の経費削減状況の中、課外活動の一環としてコンフェスを継続させるためには、以前の企業審査あるいは今回のブース審査を定常化することが求められている状況であることが説明された。

これについて水嶋部長から、企業賞審査あるいはブース審査の実施について議論をした旨の提案がなされた。

この後、大島商船および津山から、過去の企業賞導入の経緯と必要性、ブース審査についての補足説明などが述べられた。

以上のような議論を受け、本件については、次期主管校に対して実現に向けた検討をお願いすることとなった。

続いて、従来大会と今大会の相違点として、例年のプレゼンを情報交換会に移したこと、競技部門の内容は高専プロコンとは別の内容となったことなどが補足説明された。

(6) コンフェス物品の申し送りについて

津山高専水嶋部長から、今大会実施のために購入した電源タップは次回大会以降でも利用可能であるので、次期主管校に引き継いではどうかとの提案がなされた。

これを受け議論を行った結果、異議なく了承された。

(7) 次期主管校について

津山高専水嶋部長から、配布資料に沿って過去の主管校についての説明がなされた後、次回大会の主管校について議論を行いたい旨の提案がなされた。

これを受け議論を行った結果、次期主管校は宇部高専が担当することとなった。

また、併せて宇部高専に対して、閉会式での挨拶が依頼された。

(8) 中国地区高専コンピュータクラブメーリングリスト

津山高専水嶋部長から、今後もコンフェスに関する議論や案内は ccc-ml を通じて行われるので、各高専の顧問・部長には活用してもらいたいとの紹介があった。

なお、ccc-ml の案内については、以下の WWW ページに掲載されているとのことであった。

中国地区高専コンピュータクラブメーリングリスト

<http://www.tsuyama-ct.ac.jp/kagaiVer4/ccc-mail.html>

併せて津山高専寺元教員から、少なくとも各高専の顧問・部長・副部長には ccc-ml に参加していただきたいが、この参加については特に制限はないこと、可能ならば毎年度の登録内容をご連絡いただきたいこと、不要ならば削除対象者もご連絡いただきたいことなどが、補足的に依頼された。

(9) その他

宇部高専および大島商船高専から、不参加者の扱いについて質問があったが、特に問題はないので、審査も含めてそのままコンフェスを実施することとなった。

次に津山高専から、呉高専へのコンフェス参加の呼びかけはしているが、機会があれば他高専からも勧誘の声掛けをして欲しいとの依頼があった。

3. その他

- (1) 部長会議の場で大会パンフレットが各高専に頒布された。
- (2) 部長会議終了後に校舎が施錠されることについて、注意喚起があった。
- (3) コンフェスを通じて、良い交流の機会として欲しいと述べられた。
- (4) シャトルバスの運行予定などについて、連絡された。